

オレブロ大学 (スウェーデン)

長いようで短かった留学生活もあと残すところ1カ月ほどになってしまいました。特にSpring Semesterになってからは毎日がとても忙しく、飛ぶように過ぎていきました。困難な世界情勢が続く中でこうして充実した日々を送ることができていることを幸せに感じ、帰国後何か少しでも役に立てることがあればいいなと思っています。

4月はGlobalization, Wealth and Income Distributionという経済学の授業を履修しました。基本は対面の授業で、グループに分かれて意見を交換し合うセミナーと期末には記述形式のhome examがありました。Heckscher-Ohlin modelや、Gravity Modelに関して学び、セミナーでは“sustainable globalization”をテーマに自由貿易が各国に与える影響について話し合いました。教授がHome examは難しくする予定なので落ちる人がたくさん出るかもしれないと言っていたので早くから授業の復習を始めました。ただ、せっかくの留学生活なのに部屋にこもって勉強するのはもったいないと思ったので、図書館や大学のgroup roomを予約して寮の友人やclass mateと一緒に勉強するようにしていました。大学1年次に習った学習内容も少し含まれていましたが、良い復習になったと思います。

私は、この交換留学に参加するまでは英語さえできるようになればある程度の人と話せるから第2外国語の勉強は正直な所時間の無駄だと思っていました。しかし、交換留学では現地の人ではなく、他の国からの留学生と関わる機会が多く、同じ言語を話す人たち同士で固まるのでどこかの国のグループの人と行動を共にすることが多いのが現状です。たまに母国語で会話をされるとほとんど会話に入っていけず、その国の言語を少しでも知っていれば彼らともっと仲良くなれるのにとたまに寂しくなります。また日本語でもそうですが、英語に訳せないような言葉もたくさんあります。その国の人や文化をより深く学ぶにはまず、その国の言語を学ぶのが必要不可欠なのだ実感しました。英語が世界共通語になりつつある中で、他の国の言語も英語と同じくらい大切であり、学ぶ必要のない言語などないのだと痛感しました。日本に帰ったらやらなければいけないことが山ほどありますが、英語だけではなく、他の国の言語も少し勉強してみようかなと思っています。

来月、半年以上共に過ごしたcorridor mateたちと別れなければならないのが寂しくてたまりません。正直日本に帰りたくないくらいなのですが、帰国後、留学で得たものを生かしていけるよう、あと残り僅かですが充実した日々を送ってきます。

エトヴェシュ・ロラード大学 (ハンガリー)

街中に咲いていた桜も散り始め、本格的に暖かくなってきました。冬の間は15時台に日の入りをしていましたが、現在は19時を過ぎても明るい日が多いです。最近は1日のご褒美にスーパーでアイスクリームを買って帰ることが日課になりつつあります。

就職活動はまだ終わりそうになく、試験勉強との両立に苦労していますが、6月頃には終わっていることを願って、試験後のヨーロッパ旅行をモチベーションにして日々頑張っています。

先日試験の登録も済ませ、本格的な期末試験の時期になりました。履修中の6つの教科のうち、2つは単位が取れることが確定しています。1つは、試験前に行われるオンラインのテストの合計点が成績にそのまま反映される授業、もう1つは毎週提出しているレポートで成績が評価される授業です。残る4つは再来週からテストが始まります。オンラインでの筆記試験がほとんどですが、他の学生を見ていると口頭試験を行っている授業も多く、私はYCU在学中に口頭試問を受けたことはないので大学との違いを感じました。

まだあまり試験勉強に時間をかけられていないので不安がありますが、タイムマネジメントをしっかりと行い、最後の試験にベストを尽くしたいです。特にハンガリー語の授業は、プレゼンテーションが成績評価の大半を占めるので、時間をかけて準備していきたいと思っています。

高麗大学校 (韓国)

はじめに

中間テスト期間はこれまでの授業の復習で理解を深め、また英単語の暗記などを中心に勉強を行いました。テスト期間は図書館が24時間開放され、また普段ある寮の1時の門限もなくなりました。図書館の自習室は常に学生でいっぱい、夜中の1時を過ぎても席を立つ学生が少ない状況で、高麗大学の学生の試験に取り組む姿勢に驚きました。そういった環境下で自分も、図書館やカフェ、部屋などその時のモチベーションや気分によって場所を変えて勉強を行うことで集中して学習でき、試験に備えられました。

授業について：Practical English

この授業では中間課題として、今までの授業で学んできた適切な引用方法APAスタイルを用いた要約が課されました。これまでの授業では、引用方法について、またパラフレーズ、その後適切な要約方法、具体的には不要な箇所を削り、重要な考えと必要な例など過不足なく要約すること、またその際本文と3単語以上同じ語順にならないようパラフレーズをすること、パラグラフごとに文中引用をすることなどを学びました。中間課題ではZick RubinとElton McNeilによる「The influence of mind over body: What is stress? & Coping with stress.」という文章を読み要約を行いました。

最後に

中間テストの時にはテスト勉強と課題に追われ大変でしたが、時には図書館で会った友達が「ファイティン」とお菓子をくれたり、友達と一緒に勉強しようとカフェで勉強したりとモチベーションを高め合い、無事終わりました。しかし、期末もすぐにやってくるので日々勉強をコツコツと頑張ろうと思います。コロナが収まってきて、できることも増えてきたので、感染には気を付けつつ5月は少し遠出をしたりと、より充実させられればいいなと思います。

国立政治大学 (台湾)

今学期は4科目履修することとなりました。

中国語

中国語を中国語で学ぶ授業。週4日3時間、新しい文法や表現を学び、中国語自体の能力向上を図る授業。ビデオオン、スピーキングが非常に多い。
新しい表現を学び、それをを用いて文章を作ったり話したりする。

中級商業華語

ビジネスシーンにおいて使用される中国語を学ぶ授業。週1回3時間、ビジネスシーン頻出単語やコミュニケーションの表現について学ぶ。

Tax Cases and Politics

租税事件に関する裁判例を基盤として、租税法やそのような事件の背後にある政策について学ぶ授業。コロナウイルスが流行した現代社会において、政府の歳入や税制のあり方について重要視して考察していく授業。

International Relations in Northeast Asia

東北アジアの国際関係について学ぶ授業。1945年から現代に至る東北アジアの国際関係の変遷をはじめとして、東北アジアにおける政策、地域の主要な経済や政治、またそれがインド太平洋や他地域に与える影響について学んでいく。